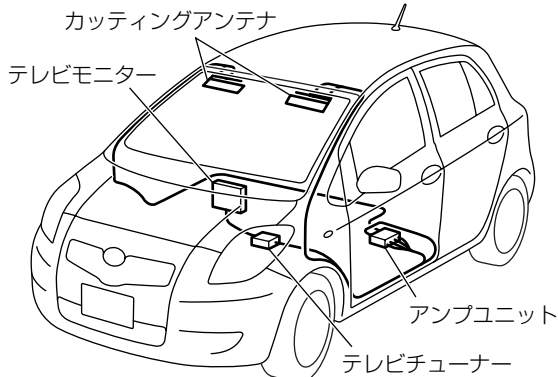


取付要領書

FLA-250S

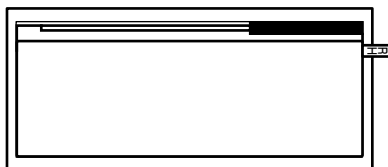
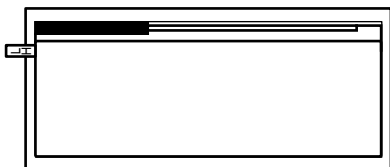
このたびは、パルウス カuttingアンテナをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付けの前に、この取付要領書を必ずお読みください。
取り付け終了後は、後日お役に立つこともありますので、保管してください。

PALUSE 
DIVERSITY TV ANTENNA
FLA-250S

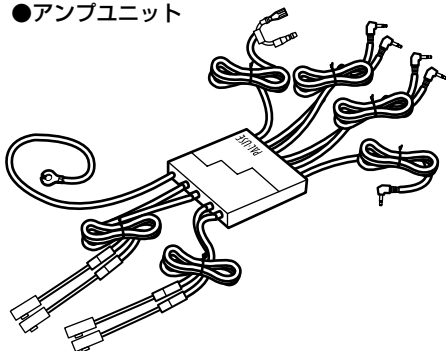


構成部品

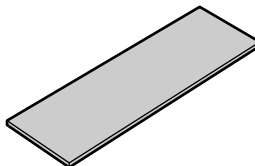
●カuttingアンテナ



●アンプユニット



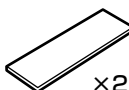
●クッションテープ



●クリーナー



●アルミテープ



×2

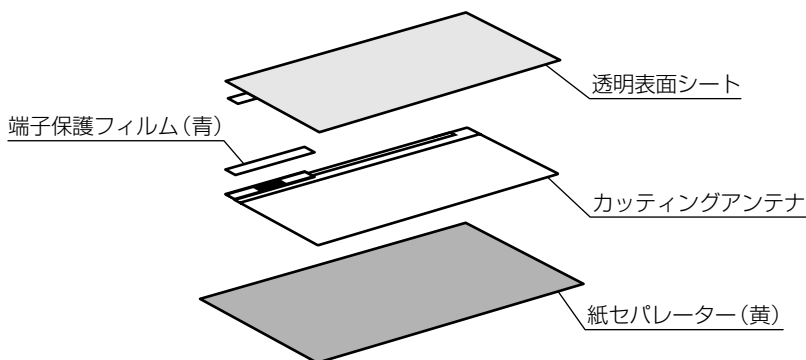
●エレットップ



●取付要領書



カッティングアンテナの構造



- カッティングアンテナとは、最新鋭技術により、アンテナパターンの周りのフィルムを極限までカットしたものです。
- 低温時はカッティングアンテナの性質上、接着力が低下しますので、取付け時は車内を常温に温めてから作業を行ってください。

安全上のご注意（必ずお読みください）

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載して次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

禁止の行為を示します。

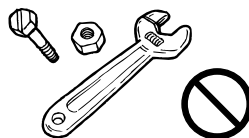
⚠ 警告

安全上お守り頂きたいこと

- 万一、煙が出る、変なにおいがする、水がかかったなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

取付作業について

- 車体のボルトやナットを使用してアースをするときは、ステアリングやブレーキ系統などの保安部品のボルトやナットは使用しないでください。事故の原因になります。



コードの配線について

- 取り付けと配線が終わったらブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が元通りに正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない場合は、配線などを確認して原因を確かめ適切な処置をしてください。原因が分からないときは、お買い上げ店にご相談ください。原因が分からない状態で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 分解や改造はしないでください。火災や故障、感電などの事故の原因となります。電源リード線の被覆を剥がして、他の機器の電源を取るとリード線の電流容量を超えてしまいます。
- 内装部品の取り外しがわからない場合は、必ず事前にカーディーラーへ確認してから作業してください。



⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

- テレビを見る時は、安全な場所に停車してご覧ください。
- 本製品は、フロントガラスの保安基準に適合しておりますが、本取付要領書の指示通りに取り付けされていない場合、保安基準適合品として認められない場合があります。

取付作業について

- ショート事故防止のために車の電源をoffにした状態で、バッテリーマイナス側のケーブルを外してから作業してください。取り付け、配線の作業が終わったあと、配線などの作業に誤りがないかお確かめのの上、取り外した車両の部品を元通りに取り付け、最後にバッテリーのマイナス側のケーブルをもと通りにつないでください。
- 一部車種の熱線吸収ガラスや、メタリックフィルム等の特殊加工をほどこしたガラスへの貼り付けは、性能を十分に発揮できない場合があります。



コードの配線について

- 必ず本取付要領書の指定通りに配線してください。指示通り配線しないと火災や感電、故障の原因となることがあります。
- 車両部分のバリ（部品加工時にできる鋭利な小さな突起）や鋭利な場所にコードが接触する場合はコードの被膜を傷めないように必ず粘着テープ等で保護してください。保護しない場合火災や感電、故障の原因となることがあります。
- 本製品は、可動するガラスには取り付けできません。可動するガラスに取り付けした場合、性能を発揮できない恐れがあります。

お願い

取付作業について

- 本機の取り付けには専門知識が必要です。ご自分で取り付けるときは、本書の説明に従って正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や故障の原因となります。
- 必ず、付属の部品を本取付要領書の指示通りにご使用になり、しっかりと固定してください。指示以外のものをご使用になると、ゆるんで外れたりする危険性があります。
- 車両に穴をあけるなどの加工が必要な場合は、最寄りの専門店にてご相談ください。

コードの配線について

- コード類はクランプや粘着テープなどでしっかりと固定してください。
- 運転操作を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には、コードを通さないでください。事故やけがの原因となることがあります。

使用工具類



ドライバー
⊕、⊖



柔らかい布



ガラス
クリーナー



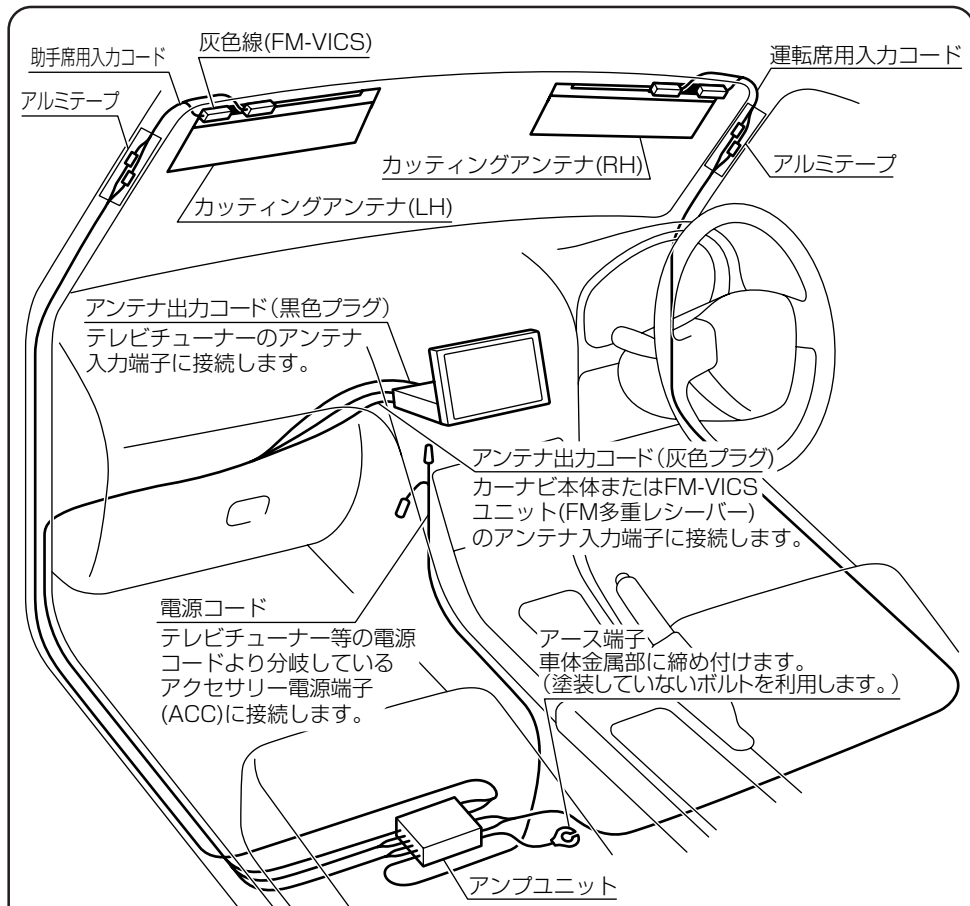
プライヤー



ビニールテープ

接続要領

※室内から見た図



警告

運転席ハンドル下及び足元には配線を絶対に通さないようにしてください。
(アクセルペダルやブレーキペダルにからまる恐れがあり、非常に危険です。)

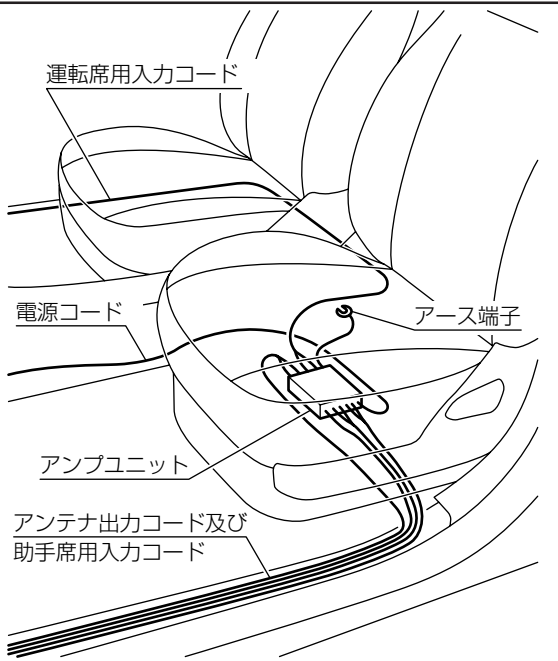
取付要領

1 内装部品を取り外します。

- Aピラー、キックパネル、スカッフプレートを取り外してください。

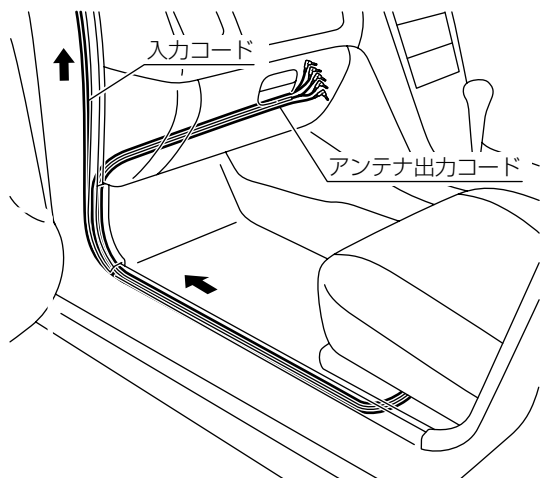
2 アンプユニットを助手席シート下に設置します。

- 必ずアンプユニットの設置を最初に行ってください。
- アンテナ出力コード及び助手席側用入力コード(灰色のコンネクター線がある方)を助手席側スカッププレート部へ配線してください。
- 運転席側用入力コードを運転席側スカッププレート部へ配線してください。
- 電源コードをセンターコンソールを通し、テレビチューナーまで配線してください。



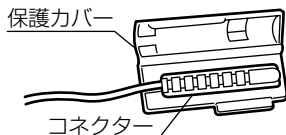
3 入力コードをAピラーまで、出力コードをテレビチューナーまで配線します。

- アンテナ出力コードは、テレビチューナーまたは、カーナビ本体まで配線してください。
- 入力コードは運転席側も同様に配線してください。



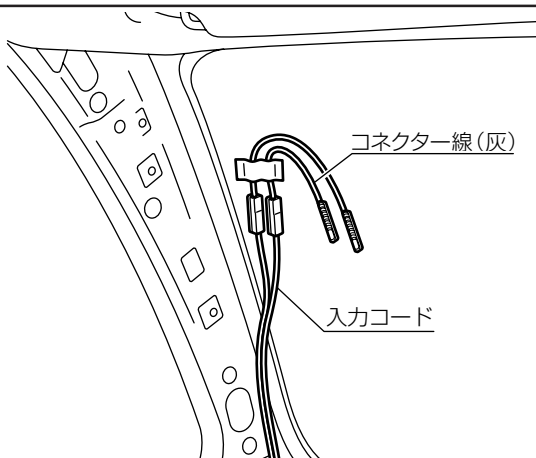
注意

- 助手席側の入力コードは、FM-VICSの配線(コンネクター灰色線)となります。
- 入力コードは、コンネクターの保護カバーを外してからAピラーまで配線してください。



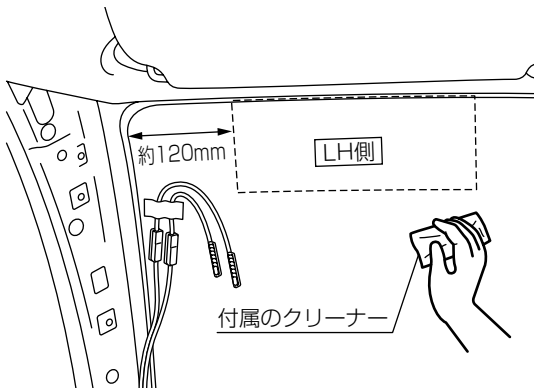
4 入力コードをガラス面に仮に固定します。

- 入力コードが落下しないようビニールテープ等でカッティングアンテナの貼り付けに邪魔にならないところへ貼り付けてください。



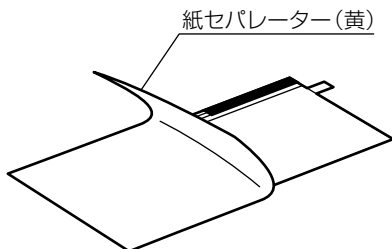
5 フロントガラスの汚れを付属のクリーナーやガラスクリーナーで完全に拭き取ります。

- 貼り付けガラス面は、フィルム接着面が非常に細く、接着面積が少ないため、完全なクリーニングを必要とします。汚れ、ほこりが残っていると十分な接着強度を得ることができません。



6 カッティングアンテナの紙セパレーター(黄)をはがします。

- きれいに貼り付けるために、紙セパレーター(黄)を剥がす前に、カッティングアンテナのパターンに沿って、柔らかい布で十分になぞってカッティングアンテナのパターンを透明表面シート側へ密着させてください。その後、ゆっくりと紙セパレーター(黄)を剥がしてください。



7

カッティングアンテナの貼り付け位置を確認します。

フロントウインド

セラミックラインの下部に
アンテナの端を合わせます。

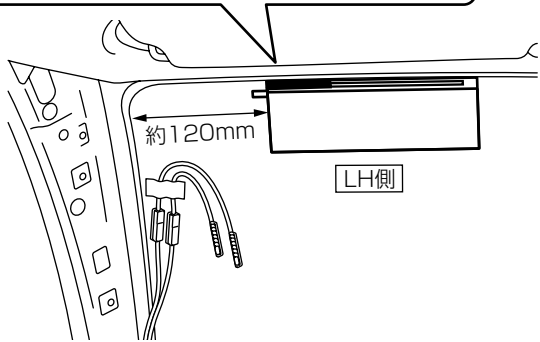
黒セラ下部

25mm

禁止

端子部は必ずこの25mmの範囲
に取り付けてください。
この範囲を外れると国土交通省
の定める保安基準に不適合となり
ます。

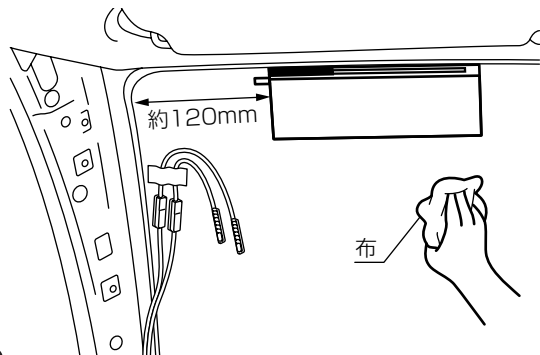
- システムを正常に作動させるため、図のように、カッティングアンテナのパターンとフロントガラスのセラミックラインを合わせてください。
- アンテナを正常に作動させるため、アンテナは、図示寸法の位置に位置決めしてください。



8

カッティングアンテナ側をガラス面にして貼り付けます。

- フィルム貼り付け位置は、上側を基準に合わせ、歪みの出ないように、ガラス面に押し付けます。
- 貼り付け後、柔らかい布を使用し透明表面シートの上からカッティングアンテナ部分をよくこすり、ガラス面に密着させてください。
- 貼り付け後、30分間放置してください。



△注意

カッティングアンテナは、貼り付けた後は、位置の変更、移動ができませんのでご注意ください。

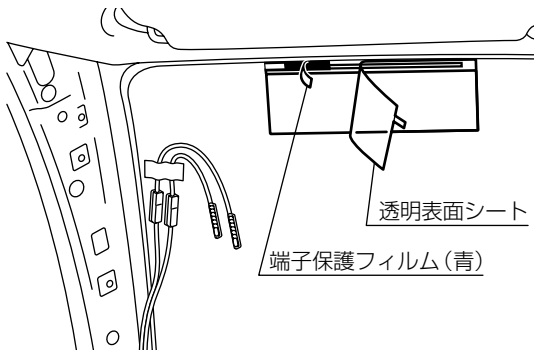
9

透明表面シート及び端子保護フィルム(青)を剥がします。

- 透明表面シートを剥がす際、端子保護フィルム(青)も同時に剥がれる場合がありますが問題ありません。

⚠注意

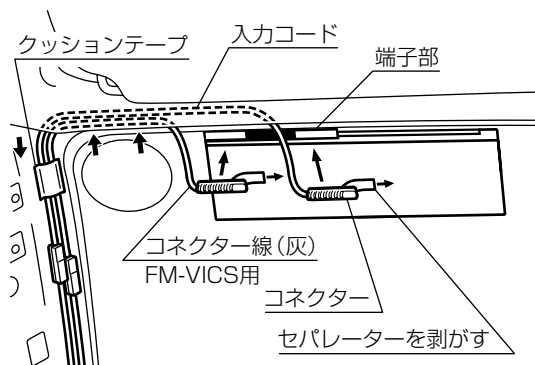
貼り付け直後は、粘着力が弱く剥がれる恐れがありますので、透明表面シートをゆっくり剥がしてください。



10

カッティングアンテナの端子部にコネクタを貼り付けます。灰色のコネクタ線は、FM-VICS用になります。

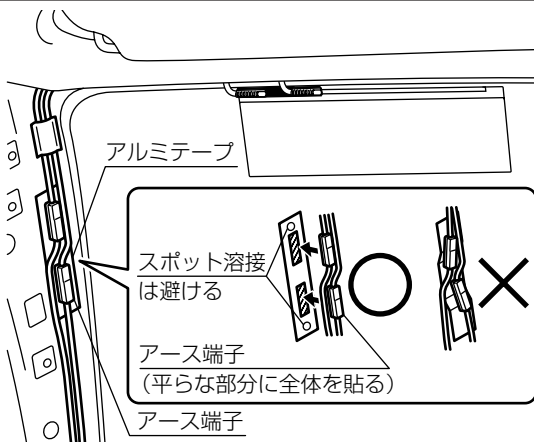
- 一度剥がしたコネクタは再使用できませんので、ご注意ください。
- 法定点検用ラベルにかからないように、入力コードをルーブリッキング内に収め配線してください。
- 必ずアース端子より上の位置をクッションテープで固定し、入力コードを金属部分に密着させてください。



11

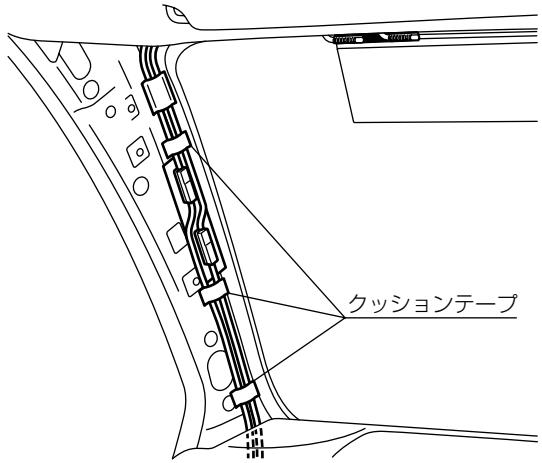
車体金属部分にアルミテープを貼り、アースをとります。

- アース端子が届く範囲の平らな金属部分にアルミテープを貼り付けてください。
- アルミテープの上にアース端子全体を貼り付けてください。
- 車体金属部分の塗装を剥がす必要はありません。



12 入力コードをクッションテープで固定し、金属部分に密着させます。

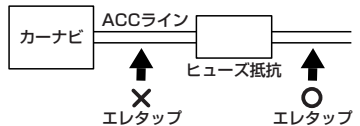
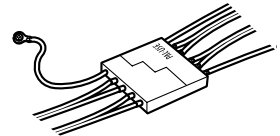
- 配線は極力、金属部分にクッションテープで固定してください。（性能に影響がでる恐れがあります。）
- クッションテープは、適当な長さにカットしてご使用ください。



13 運転席側も同様に貼り付け作業を行います。

14 アンプユニットのアース端子を車体にボディーアースし、電源の配線をします。

- 電源コードはテレビチューナーの配線等より分岐しているACC(アクセサリ電源端子)に接続してください。
- 分岐しているACC端子がない場合にはエレタップを利用して電源をとってください。
- アースがとれていることをテスター等で確認してください。



〔ヒューズ抵抗付のカーナビからエレタップで取り出す場合〕

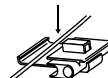
エレタップの接続方法

使用しません。



1.電源コードのギボシ端子を切断します。

ナビゲーションシステムの電源コード (ACC・赤)

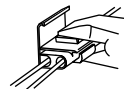


2.エレタップにナビゲーションシステムの電源コード(赤)を差し込みます。

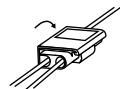


アンプユニットの電源コード

3.エレタップ側面のカバーを閉じ、切断した電源コードを差し込みます。



4.エレタップ上部の金具をペンチ等で押し込み、2本のコードを固定します。

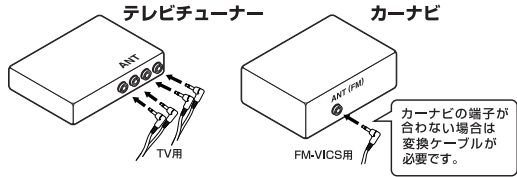


5.エレタップ上部のカバーをパチンというまで押し込みます。

15

アンテナ出力コード5本のうちTVアンテナ用4本(黒プラグ)をテレビチューナーに、FM-VICSアンテナ用1本(灰色プラグ)をカーナビ本体またはFM多重レシーバーのFM-VICS入力端子に接続します。

- カーナビがない場合FM-VICS用の配線は必要ありません。
- カuttingアンテナが確実に動作しているかTV側に電源を入れている状態で、下記の内容を確認し、異常のある場合は、取り付け手順に従い確認を行ってください。

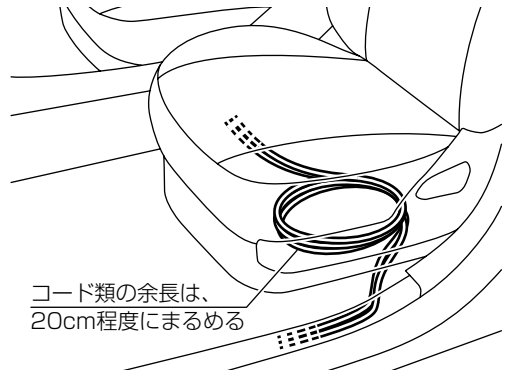


NO.	確認内容
1	電源コードを抜き差しして画像にアンプの効果が現れるか (例: 白黒画像がカラー画像に変化)
2	TVチューナーにアンテナ出力コードを1本ずつ挿入し、アンテナがつながっているか画像確認

16

コード類の余長を処理します。

- 余ったコード類は、助手席シート下で20cm程度の円を描くようにまるめ、処理してください。(信号の劣化が少なくなります。)



17

コード類を布テープ等で車体板金に固定します。

18

内装部品を元通りに取り付けます。

仕様

受信チャンネル
出力インピーダンス
ケーブルの長さ
フィルム寸法
定格電圧
消費電流
質量

VHF(1~12ch)/UHF(13~62ch)/FM-VICS対応
75Ω×5
アンプ入力側: 3m、4m/アンプ出力側: 3m
105mm×280mm (1) 105mm×290mm
12V
0.1A
約420g

受信について

受信環境(トンネル内、ビルの谷間、テレビ塔付近)によっては、鮮明な画像が得られない場合があります。ラジオ、パーソナル無線、自動車電話などが近くにある場合は、それらのアンテナを十分離してください。断熱ガラスを使用した車及び熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくいものがあり、受信できないことがあります。

お手入れについて

汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

保証期間について

この製品には保証書が添付されております。所定事項の記入及び記入内容をお確かめのうえ、大切に保管して下さい。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内でも次の場合は、原則として有料とさせていただきます。

- イ) 誤った使用および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、落下などによる故障および損傷。
 - ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧)などによる故障および損傷。
 - ニ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き替えられた場合。
 - ホ) 本書のご提示がない場合。
- ※ 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
※ 本書は日本国内においてのみ有効です。
※ 本書事項に従わない場合に生じた事故その他については当社は一切責任を負いかねます。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう一度御覧になってお調べください。お買い上げ店、または当社にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証期間中に、正常な状態で故障が発生した場合には、当社保証規定に基づいて、無料で修理致します。お買い上げの販売店、または当社へご相談ください。尚、ご自身での取り付けに起因した故障および地域的な受信不良に関しましては、保証の適用外とさせていただきます。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が回復できる場合は、有料修理させていただきます。

仕様は予告なく変更する場合があります。

ご質問ご相談は

原田工業株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目17番13号

TEL 03-3765-4321 (代)

■ ご自分で取り付けが困難な場合は、お買い上げ店または、カーディーラーにご相談ください。



発売元：HARADA INDUSTRY CO., LTD.

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目17番13号

TEL 03-3765-4321 (代)

＜お問い合わせ時間＞

9:00～12:00 13:00～17:00 (土日、祝日を除く)

<http://www.harada.co.jp/denpa/index.html>